

水性機能形つや消し塗料

ニッペ

オーデファインアクト[®]

においが少なく、汚れを除去しやすいエマルジョン塗料です

特長

1. 汚れにくく、汚れても容易に拭き取ることができます。*

特殊アクリルエマルジョン及び微粒子顔料の採用により塗膜に硬度と緻密性を持たせています。従来の市販エマルジョン塗料は汚れが取れにくく、無理に取るうとすると逆に周囲を汚す結果となりましたが、本塗料は汚れが塗膜中に浸透しないため、汚れを容易に拭き取ることができます。

*乾燥後の塗膜に付いた汚れは、せっけん水で洗浄してください。著しい汚れには塗料用シンナーを使用できますが、表面が溶解してつやが変化することがあります。

2. 塗装作業性にすぐれ、美しく仕上がります。

塗り継ぎ・パテ跡が目立たず、おちついたつや消しで、すっきりした仕上がりが得られます。

3. 防藻・防かび機能があります。

*オプションで強力防かび機能も付与できます。

用途

モルタル・コンクリート・プラスターボードなどの内外部壁面

- VOC・臭気対策が求められる改修物件（病院・ホテル・教育施設など）
- 汚れ・臭いにつきやすい場所（教育施設など）
- 汚れ・臭いについては困る場所（食堂・工場など）

規格・荷姿

製品名	規格	種類	防火材料認定※2	色	つや	容量
オーデファインアクト	JIS K 5663	1種相当※1	NM-8585 不燃材料 QM-9816 準不燃材料 RM-9364 難燃材料	白および淡彩	つや消し	16kg

※1 該当規格の性能を満たしています。（社内試験）

※2 旧基材同等第0001号、国土交通大臣認定、品目名：塗料・塗装

基本性能

試験項目	規格	JIS K 5663 1種相当※
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	合格
低温安定性（-5℃）	変質してはならない。	合格
乾燥時間（h）	標準状態	合格
	5℃	
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
隠ぺい率%（白および淡彩）	93以上	96
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする。	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする。	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする。	合格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格
防藻性	藻の発生が認められない（社内試験）	合格
防かび性	試料又は、試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。（JIS Z 2911）	合格
汚染除去性	赤マジックを塗料用シンナーで拭いた跡が見本品に比べて差異が少ないこと。	合格

※該当規格の性能を満たしています。（社内試験）

ニッペ オーデファインアクト

標準塗装仕様（一般内部）

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し乾燥した清浄な面とする。						
下塗り*1	ニッペ水性カチオンシーラー (ホワイト・透明)	1	0.10~0.16*2	4時間以上	水道水	ホワイト 0~10 透明 無希釈	はけ ウールローラー
上塗り	ニッペオーデファインアクト	2	0.12~0.14*2	2時間以上	水道水	5~10	はけ ウールローラー


*1 新設塗装や吸込みの著しい下地では、下塗り工程が必要です。
 *2 下塗りには、水性透明シーラー、水性ホワイトシーラー、水性シミ止めシーラーⅡも使用できます。
 ※風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
 ※上記の各数値は、すべて標準的のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。
 ※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
 ※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されており、特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。
 *2 「ニッペ水性カチオンシーラー（ホワイト・透明）」の塗付け量は0.09kg/m²/回 「ニッペオーデファインアクト」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。
 ・使用量：被塗表面単位面積あたりの塗料量（希釈する前の使用質量） ・塗付け量：被塗表面単位面積あたりの塗料量（希釈する前の付着質量）

施工上の要点・注意事項

（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。）

- ①防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- ②地すじ結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ③塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥水拭きして除去してください。
- ④色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- ⑤乾燥後の塗膜に付いた汚れは、せっけん水で洗浄してください。著しい汚れには塗料用シンナーを使用できますが、表面が溶解してつやが変化することがあります。
- ⑥スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- ⑦乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- ⑧動物はけは、はげが固まったりタマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ⑨JIS K 5663 1種（主として屋外用）の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
- ⑩塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- ⑪本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗りと2回塗りでは仕上がりが異なります。
- ⑫汚染除去性は、乾燥条件、使用量、塗り回数などにより若干差がある場合があります。
- ⑬つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをして本施工してください。
- ⑭繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には塗装できません。
- ⑮吸音板塗り替え用顔料分塗材（シールマットⅡなど）の塗り替えには使用できません。
- ⑯日塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておそれがあります。
- ⑰風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ⑱やがに著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥（目安23℃、6時間）させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗面を十分乾燥させてから塗装してください。
- ⑲下地にタバコのやに汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーⅡを塗装してください。
- ⑳塩化ビニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロス接着剤が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくる場合がありますので、クロスのはがれ部などはあらかじめ接着剤などで抑えておくことが安心です。
- ㉑素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケツ科社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケツ科社製H500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- ㉒ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。）
- ㉓内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ㉔素地にセメント成分などが使われている場合は、エフロレシスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ㉕新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ㉖塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でない結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ㉗屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ㉘塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ㉙塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ㉚飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ㉛笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ㉜薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ㉝上塗りに汚れたイェロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- ㉞調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ㉟濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラーおよび刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解やにじみが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- ㊱大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ㊲はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がまです。はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ㊳ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- ㊴塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- ㊵汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ㊶布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス（シリコン加工された水をかけると著しくはじくクロス）には塗装できません。塩ビクロスで可塑性移行が考えられる場合は所定の仕様で塗装してください。
- ㊷ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でのご使用ください。
- ㊸可塑性が多く含まれる塩ビ珪鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- ㊹塗料は内容物が均一になるようによくはんしてしてください。特につや調整剤では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- ㊺開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ㊻塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ㊼製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

ニッペ オーデファインアクト 白		横倒禁止
<ol style="list-style-type: none"> ①本来の用途以外に使用しないでください。 ②使用前に取扱説明書を手当てしてください。 ③すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。 ④取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。 ⑤保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。 ⑥口をすすいでください。 ⑦容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。 ⑧吸入した場合は：気分が悪いときは、医師に連絡してください。 ⑨吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 ⑩眼に入った場合は：水で数分間注目を流してください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。 ⑪はく露またはばく露の懸念がある場合は：医師の診断/手当てを受けてください。 ⑫眼の刺激が続く場合は：医師の診断/手当てを受けてください。 ⑬施設として保管してください。 ⑭直射日光や水濡れは厳禁です。 	<ol style="list-style-type: none"> ⑮塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。 ⑯日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にしないでください。 ⑰容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。（偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。） ⑱内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ⑲容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持込め、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 	
<p>危険</p> 		<p>危険有害性情報</p> <p>強い眼刺激/発がんのおそれの疑い/生殖能または胎児への悪影響のおそれ</p>
<p>* 上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。 ■ 詳細な内容、表示以外の製品については、安全データシート（SDS）をご参照ください。 ■ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>		

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
 ●©Copyright 2015 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.
 ●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●このカタログは再生紙を使用しています。

カタログNo.

NP-T041

KE150703T

2015年7月現在